

# ライフサイクルCO2による建物環境負荷評価手法



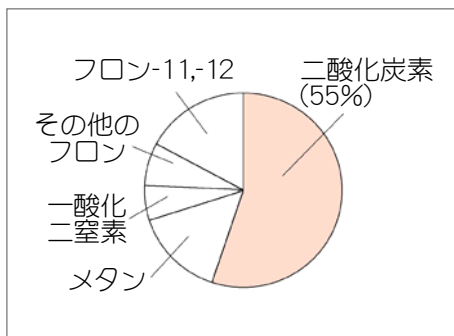
建物の建設から運用、解体までに排出される二酸化炭素の量により環境への影響を評価する手法

## お客様のメリット

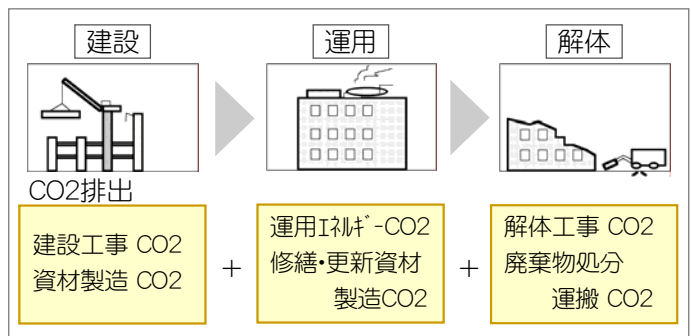
- 地球環境保全(CO2低減)への貢献度を具体的な数値で示すことができます。
- 様々な対策により環境負荷を減らし、イメージアップにつなげます。

## 技術の特徴

- 地球温暖化に最も影響の大きい二酸化炭素(CO2)量を環境負荷を評価する指標としています。
- 建物の建設時だけではなく、運用時、解体時を含め、ライフサイクルを通して排出する二酸化炭素量の合計(LCCO2と呼ぶ)を指標としています。
- LCCO2を用いた評価は建築学会によるものですが、大成建設では、簡易計算プログラムを開発し、スピーディーな評価を可能にしました。



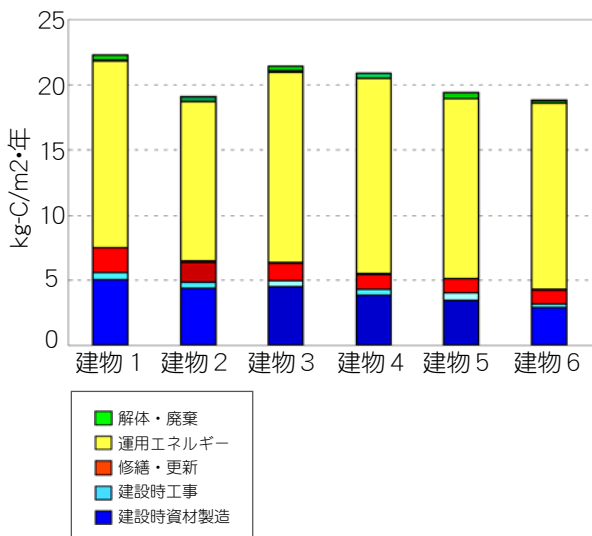
■地球温暖化原因ガスの寄与率



■建設から解体までのライフサイクルでのCO2発生

## 実績・事例

〈LCCO2計算結果〉



〈環境負荷低減対策の効果〉

